

父の日のメッセージ

「預言者サムエルの召命」

I サムエル記 3:1-21

2020.6.21 HKJCF

1

概観

父の日にハンナの子、サムエルは大祭司エリのもとで、どのように成長したか、親の権威と模範について学びたい。

アウトライン

1. イスラエルの信仰
2. エリの信仰
3. サムエルの信仰

2

1. イスラエルの信仰

- 1) 主の言葉が稀: 士師→平和→**墮落**(V1); **独り善がり、いい気な、神を畏れない霊性**。大祭司の目がかすんできた(V2)。
- 2) 儀式的な信仰: **新しい命と期待が薄れるリスク**(V3)(レビ 24:3-4); **ほとんど祈らない民**(1:13-14); **悟りが遅い大祭司**(V5-8)。
- 3) リバイバルを起こされる主: **サムエルを召され、エリを引き継がせる準備**(V11-12); **神のタイミングがある→悪が溜まった時**。

3

2. エリの信仰

- 1) エリの息子たち: **主のいけにえを軽視した**(2:12-17); **性的に淫らだった**(2:22-25)。神様と父親の権威が軽視されていた。
- 2) 警告されたエリ: **チャンスを大事にしないエリ**(2:29-34); **御言葉を行動に移さない弱さ**(V13-14); **お構いなくの姿勢**(V18)。
- 3) 人間の力の限界: **心に響かない時、タイミングを逃した時がある**(箴言 19:18-20); **大事な関係は諦めないで関わりつづけるように**。

4

3. サムエルの信仰

- 1) 母ハンナのとりなし: **誓願通りに**(1:27-28); **毎年**の関わり(2:18-19); **祈りの保護**(2:26)→神様からの祝福を受ける結果に(2:35)。
- 2) 若いサムエル: **12~13歳→信仰の自立**; **主を知ること**(V7); **信仰をもって語ること**(V17-18)→**恵みと祝福の拡大**(V19-21)。
- 3) リーダーの権威と模範: **周囲と次世代に与える影響力**; **エリ→サムエルに続く**(8:1-4); **「信仰継承は一代かぎりの活躍より大事」**。

5

適用

- ① 聖霊内住の特権を感謝するように: 祭司と預言者だけの旧約時代から、全員が神の子として天の父に祈れる時代になったので、積極的に祈っていこう。
- ② 祈りを通して神様に期待していくように: 周囲の環境はどうであれ、しっかりと自分の霊性を保ち、ひたすら神様に待ち望んで、期待して祈っていこう。

6